

妻の浮気は みっ 愛液の味2

どこかの淫乱のような格好で、顔を赤らめ、媚びた瞳、だらしなく半開きの口、発情した雌のごとく尻を振り男の腕に豊満な胸を押し付け……

そんな妻の左手……俺たちの愛の証である指輪が外されていた……

俺は妻を寝取られて悦ぶ変態だったのか……！？

カラー28P

あの後姿は妻だ……!!？

しかし、俺は目を疑った

その目俺は外廻りの営業で
普段行かないエリアを歩いていた
そこで、妻を見かけた

妻の格好……
露出された肩や腰
そしてほぼ剥き出しの尻……
歩くたびにふるんと揺れる尻肉……

なにより一緒にいる、
妻の腰に手をやり、
恋人のように添っているあの男……っ！

マンションの隣に住んでいる
たしか……大学生だったか

たまたま会って
ふらついて、
ちよつと支えしてもらって……

慌てた妻の口から、早口で
嘸まれる言い訳を
俺は当然、
信じる事ができなかった

おとなしくて、恥かしがりで
貞淑で、奥手で・・・
邪気がなく、嘘がつけなくて・・・
いつも穏やかに微笑んでいる・・・妻はそんな女だ



高校のころに付き合いだし、
同じ大学を卒業、就職して3年後に結婚
それからさらに、2年・・・俺は妻をよく知っている、理解している、しかし

あの目見た妻は、俺の知らない妻おんなだった・・・

どこかの淫乱のような格好で、顔を赤らめ、
媚びた瞳、だらしなく半開きの口、発情した雌のごとく尻を振り
男の腕に豊満な胸を押し付け・・・



そんな妻の左手・・・
俺たちの愛の証である指輪が
外されていた・・・



そして俺は、

決心した



俺を会社に送り出す際の
妻の、何かを期待するような薄けた目……

何かを待ちきれないのか
熱く、静かに荒れる息……



よし！

盗撮しようっ！



最近はお洒落で高性能小型カメラが手に入る
俺はアマゾンでそれを購入、居間、寝室に取り付けた

俺がいないときの妻を覗き見るため……
愛する妻の浮気現場を押さえるためっ！



あの男は隣の部屋に住んでいる
多分、毎日のようにウチに来て

俺の妻を抱いているはずだ……
まるで自分の女のようにだ……！



やはり……！

マンションの近くに
車を停め待機すると……





まるで本当に、恋人同士のようだった。。

俺が聞いたことのない、
甘ったるい声で媚びる妻

甘える妻を、年上である妻を
少し邪険に、そして支配的に
扱う男

妻はこういう関係が好きなのだろうか。。。？

妻とはそれなりに長い付き合いだが
俺がしてきた妻との関係とは違う。。。
全く知らない、他人の恋人関係を見ているようだ。。

寝室に移ったふたりは
互いに何も言わず
当たり前のように服を脱ぎ。。

ああ、妻が他の男に
裸体を晒している。。

男のペニスはすでにはち切れんばかりに
勃起していた

他人の妻を犯す悦びを体現するかのよう
にそそり立っていた

くそっ！ソレをつ！

そんな凶暴なモノを、俺の妻に捻じ込む気かつ！





「もうすっかりぐじゅぐじゅ
じゃねえか」

「あっ♡」

「朝からずっと
濡らしてたんだろ？」

「だってえ、あぁっ♡」

5つ以上年下の男の無骨な指で
乱暴に弄り回された妻のアソコは
もてあそ
いいように弄ばれた妻のま○こは…

その指の動きに応えるように
下品な音を鳴らし続けた

噴き出す汁でシートを汚し…
多量に垂れた愛液が局部一帯を
テカテカに光らせていた

「ダンナと一緒にいて、
他の男のこと考えて、発情して」

「んあっ、んあぁっ♡!」

「悪い奥さんだなw」

「んあっ!ソ、ソコっ♡」

「ここか?ここだろ?
知ってたぞ、ほれw!」

「あっ♡
そこ、イイっ♡」

「あぁっ♡」



男は器用にして卑猥な指と意地悪な言葉とユーモアで、妻を鳴かせた続けた後、

優越感、征服感を
にじませた歪んだ顔で嗤い……

さらに妻を責め立てる
押し倒し、下の口と上の口を
同時に責める、犯す

妻は仰向けの蛙のように
無様に脚を開き、
やはりまた鳴き続ける
いつそう無様に……

男の舌が陰部を捉え
執拗に、丁寧
そしてときに乱暴に舐め回す

刺激によって膨らんだ蕾を舌でつついて、転がして口に含んで、吸って、吸って、吸って吸いまくる

「じゅじゅ〜」と
男の回が舌が鳴る

妻の鳴き声が大きくなる

指と舌で丹念に責められた
妻の局所は…妻のま〇こは

見たことがないくらい
突起が膨らみ

「あ…♡」

はー♡
はー♡

「はあ…♡」

穴から涎のようにだらしなく
汁を垂れ、汁に塗れ
ひくひくと痙攣していた

画面越しにも匂いが
雌の発情した臭いが
漂ってきたようだ

いったい何度イつたのだろうか…？
余韻を噛み締めるように
呆ける妻の顔をみて思う

「んっ♡」

はー♡

たぽ♡

「んはあっ♡」

はー♡

きゅ♡

俺は妻にこんな
にしてやれなかった…と
歯を食いしばる…

ビクン



ときが経つにつれふたりの体が
一層密着する、絡み合う

二度と離れないように
解けないように……

一心不乱に互いの性器を
貪り合う

ま〇こを責められながら
ぺニスを責める

ぺニスを責められながら
ま〇こを責める

互いに引かない一進一退の攻防……

まさに一心一体だ



この男のペニスは
おれよりでかい、くやしいが
比較にならないっ！

長さも、太さも
勃起角度をみるに
硬さも相当なものだろう

カリ首もでかい

妻の膣^{なか}内が変わって
しまう

そんなえげつないモノを
ぶち込まれたら…
えぐり、かき回されたら…

あの男の形に
変えられてしまう











妻は、男の体にまたがり
一心不乱に腰を振っていた

俺はこんなセックスを
させた覚えがない

仕込まれたのか…
この男に。。。っ!?

何度も体位を変え、
上になり、下になり
前になり、後ろになり組んず解れつ

ふたりの激しい性交は…
妻の浮気セックスは、
おれがするツレよりも
大分長い時間をかけて…

男が、妻の胎内に無遠慮に
精を放つことで、終わった…

当然のような、合意の腔内出し

妻の穴から溢れ出る精液
ひくひくと痙攣し、それでも
名残惜しそうに男の肉棒を
啜えて離さない、妻の性器

蕩ける妻の顔…

汗と汁に塗れ
快感の余韻に震える
妻の肉体…

「あ……♡」

「あはあ……♡」

俺の知らない妻…

俺は、カメラを切り目を閉じた…限界だった

俺の股間は漏れ出た精液で
べとべとになり、しかしまだ
ぎんぎんに膨張していた…

困惑していた…

いままでこんなに興奮したことは、滾ったことは
なかったからだ…

妻が寝取られる…
他の男にいいように弄られ、嬲られ
体を征服され、心をも支配される

他人のモノになる…



いけない遊びを覚えた子供のように、
胸が高鳴る……っ！

今でも覚えている
初めてオナニーをしたときの
体が痺れるような快感と脱力感
そして……一抹の罪悪感

その思いが、体験がよみがえる……
まずいつ！これはいけないっ！





俺は・・・俺は
妻を寝取られて悦ぶ変態だったのか！？

他の男に尻を振り、脚を開き
いやらしく股を濡らして、肉棒を咥えこむ
媚びた嬌声を上げ、何度も何度も体を許す

そんな妻に俺は
興奮しているのかっ！？
そんな妻を愛せるのかっ！？

わからない・・・自分の気持ち
自分自身が・・・

そして妻のことが・・・

浮気現場を押さえた
妻を責めることもできる、なじることもできる
離婚・・・いや、許すことだって、できる・・・ふう・・・

暗転したスマホの画面を見る・・・
ふたりは今何をしているのか
妻は今どんな痴態を晒しているのか

また覗き見る気にはなれなかった・・・
俺の手は自然とペニスを握り締め、
痛いほどに脈打つほどに勃起したソレを、
激しくしゃがんでいた・・・



その日俺は、たっぷり時間をかけて家に帰った

妻はおかえり、と笑顔で迎えてくれた

普段どおりの笑顔で、しかし……
上気した頬、少し湿った髪、部屋に残る匂い……
今までは気付かなかった浮気の痕跡が見て取れる

ついさっきまで抱かれていたのだろう妻を見て、
それでも普段どおりにふるまう妻の姿を見て……
また、股間が疼いてくる、あれほど又いたのに

さて、どうするか……

とりあえず、トイレでオナニーをしよう
そして、もっと解像度の高いカメラを買おう
家中に、廊下にもキッチンにも、トイレにも仕掛けよう

結論を出すのは、まだ先のはなしだ